

# 日本組織培養学会



## 会員通信

第148号

令和5年1月20日

発行者 一般社団法人 日本組織培養学会

編集 一般社団法人 日本組織培養学会  
情報・アーカイブ担当理事  
山本 直樹（藤田医科大学）

〒470-1192  
愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98  
藤田医科大学 研究推進本部  
総合医科学研究部門  
バイオリソース室  
E-mail : naokiy@fujita-hu.ac.jp

## 目次

1. 年頭のご挨拶	2
2. 第95回大会（2023年）開催のご挨拶とお知らせ	3
3. 第95回大会 奨励賞申請と発表について	6
4. 第95回大会 English Presentation Award 申請と発表について	9
5. 委員会等報告	
1) 法人化推進委員会	10
2) ILSI Japan シンポジウムの協賛について	11

## 1. 年頭のご挨拶

理事長：藤井 万紀子

日本組織培養学会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症に関しましても、未だ予断を許さない状況ではございますが、本年度は国内外での学会活動も活発化するという明るい兆しも見えてきました。会員通信 147 号でもご報告申し上げましたが、日本組織培養学会第 94 回大会は 2022 年 7 月 7 日（木）、7 月 8 日（金）の 2 日間、大阪・千里ライフサイエンスセンターにて小原有弘大会長のもと、盛会のうちに無事終了することができました。会場まで足を運んでくださった参加者の皆様、ZOOM で参加していただいた皆様、展示会場で製品をご紹介いただいた企業の皆様には、心より御礼を申し上げます。

コロナ禍におきましても、若手の学生、研究者にとって学術の停滞が無いようにと学会として努力を行って参りましたが、やはり対面での学術討論やコミュニケーションは教育、研究面それぞれで効率が良く、その有難さを実感することができました。

さて、2023 年度は阪口政清先生が大会長として、日本組織培養学会第 95 回大会を 8 月 31 日（木）・9 月 1 日（金）に岡山大学 鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall で開催することになりました。私自身、一会員として大変楽しみにしております。会員の皆様にも是非予定をおさえていただきたくお願い申し上げます。更に、状況が許せば新型コロナウイルス感染拡大のため停止していた細胞培養基盤技術コースを、2023 年度から順次開催をおこなっていく方針となりました。細胞培養技術の標準化を進めるため、日本再生医療学会と培養技術指導の連携も進めており、より良い技術指導ができるように鋭意努力して参ります。

2022 年 5 月 2 日に一般社団法人の登記が完了してから半年以上経過しました。現理事一同、法人化移行に伴うシステム変更で多くの取り組みを行っております。会員登録等、まだご不便をかけている点もあるかと存じますが、何卒ご理解の程、宜しくお願い申し上げます。

本年も日本組織培養学会会員の皆様にとって良い年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 2. 第 95 回大会（2023 年）開催のご挨拶とお知らせ

第 95 回大会長 阪口 政清

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本学会の運営につきまして種々ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、日本組織培養学会第 95 回大会を 2023 年 8 月 31 日(木)・9 月 1 日(金)に岡山大学 鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall で開催させていただくこととなりました（新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じてハイブリッド開催を検討いたします）。伝統ある本学会の大会長を担当させていただくことを大変名誉に感じております。皆様のご指導・ご協力を賜りますよう、衷心よりよろしくお願い申し上げます。

第 95 回大会のテーマは、「疾患克服に向けた先端細胞培養と細胞解析」とさせていただきました。細胞培養の基盤技術から最先端の技術を駆使した組織形成、最先端の細胞解析法を利用した疾患の理解、その未来にある再生医療や創薬などの幅広い分野において活発なディスカッションが行われる大会になるよう教室員一同協力し、自由な議論の場をご提供できるよう誠心誠意尽力して参ります。本大会におきましては、特別講演を慶應義塾大学医学部教授の佐藤俊朗先生にお願いしており、オルガノイド培養技術を駆使した最新の知見をご紹介します。シンポジウムでは、「先端組織形成」、「先端細胞ソリューション」、「先端がんモデル・標的・治療」をテーマに各分野でご活躍されている先生方をお招きしております。本大会での学びや気づきが皆様の今後の研究の糧となりますと大変嬉しく思います。現地での大会開催については、出来る限りの感染防止対策を講じ、皆様に安心してご参加いただけるよう配慮いたします。

皆様のご参加や成果発表、白熱した議論を期待しております。状況が許すようであれば学会の合間には是非とも、令和の大改修が完了した岡山城や、美しい街並みが続く倉敷美観地区などでホッとひと息つくお時間をお楽しみいただけますと幸いです。楽しく記憶に残る時間を共有していただけますよう、岡山の地で皆様とお会いできることを心待ちにしております。

岡山大学学術研究院 医歯薬学域  
細胞生物学 教授 阪口 政清

## 【大会概要】

大会長：阪口 政清（岡山大学学術研究院 医歯薬学域 細胞生物学）

テーマ：疾患克服に向けた先端細胞培養と細胞解析

会 期：2023年8月31日（木）・9月1日（金）

会 場：岡山大学鹿田キャンパス Junko Fukutake Hall  
（岡山市北区鹿田町 2-5-1）

日本組織培養学会 第95回大会実行委員会（敬称略、五十音順）

実行委員長：阪口 政清

実行委員：浅香 勲（京都大学 iPS 細胞研究所 基盤技術研究部門 教授）

片岡 健（岡山理科大学 理学部 臨床生命科学科 教授）

西條 薫（理化学研究所 バイオリソースセンター

リソース基盤開発部 細胞材料開発室 特別嘱託技師）

筒井 健夫（日本歯科大学 生命歯学部 薬理学 教授）

藤井 万紀子（広島大学大学院 医系科学研究科 ゲノム口腔腫瘍学 教授）

森 一憲（昭和大学 薬学部 基礎薬学講座 腫瘍細胞生物学部門 講師）

協力者：菅 修平、黒澤 尋、小原 有弘、嶋本 顕、須藤 和寛、竹澤 俊明、  
中村 和昭、二川 浩樹、林 洋平、松木 亨、山崎 泰助、山本 直樹

## 特別講演

佐藤 俊朗 先生（慶應義塾大学 医学部 坂口光洋記念講座（オルガノイド医学） 教授）

## シンポジウム 1『先端組織形成』

後藤 慎平 先生（京都大学 iPS 細胞研究所 臨床応用研究部門 教授）

竹内 昌治 先生（東京大学大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 教授）

岩井 良輔 先生（岡山理科大学 フロンティア理工学研究所 講師）

## シンポジウム 2『先端細胞ソリューション』

寶田 剛志 先生（岡山大学学術研究院 医歯薬学域 組織機能修復学 教授）

富樫 庸介 先生（岡山大学学術研究院 医歯薬学域 腫瘍微小環境学 教授）

長船 健二 先生（京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門 教授）

## シンポジウム 3『先端がんモデル・標的・治療』

近藤 格 先生（国立研究開発法人 国立がん研究センター

新領域創生プロジェクトグループ 希少がん研究分野 分野長）

近藤 英作 先生（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子細胞病理学 教授）

木戸屋 浩康 先生（福井大学学術研究院 医学系部門 血管統御学 教授）

- 奨励賞対象演題
- English Presentation Award
- 一般発表・ポスター発表
- 総会

(新型コロナウイルス感染症対策のため、ランチョンセミナーは中止とさせていただきます。何卒ご容赦ください。)

### **奨励賞対象演題の募集**

奨励賞対象演題に応募される方は、指定の申請書類を **2023年4月12日(水)** までに電子メールにて提出してください。

学会ホームページ : <https://www.jtca.net>

第95回大会ホームページ : <http://jtca.umin.jp/meet/y2023/index.html>

奨励賞対象演題募集について : [http://jtca.umin.jp/shourei/shourei\\_index.html](http://jtca.umin.jp/shourei/shourei_index.html)

### **一般演題(口頭発表・ポスター発表)・English Presentation Award Competition (EPA)の募集**

本大会でも引き続きオンライン登録システム AWARD を運用いたします。第95回大会ホームページの「参加登録」Web ページよりアカウントを作成いただき、その後マイページより演題登録を行っていただきます。詳細は第95回大会ホームページならびに「演題登録」Web ページをご確認ください。English Presentation Award (EPA) 演題登録ご希望の方は、「EPA」Web ページにて規定をご一読ください。

「EPA」 Web ページ : [http://jtca.umin.jp/EPA/EPA\\_index.html](http://jtca.umin.jp/EPA/EPA_index.html)

演題登録期限 : **2023年6月9日(金) 締切厳守**

### **参加費**

	会員種別	大会参加費
事前登録	一般会員 <sup>※</sup>	6,000 円
	学生会員 <sup>※</sup>	3,000 円
	非会員	8,000 円
	学生非会員	4,000 円
当日登録	一般会員 <sup>※</sup>	7,000 円
	学生会員 <sup>※</sup>	4,000 円
	非会員	10,000 円
	学生非会員	5,000 円
	名誉会員	無料

※ 一般会員および学生会員には、日本動物実験代替法学会会員および同学会学生会員が含まれます。

事前登録方法につきましては、追って第 95 回大会ホームページ上にてお知らせいたします。懇親会は開催いたしません。

### 日本組織培養学会 第 95 回大会 大会事務局

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

国立大学法人 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 細胞生物学

TEL : 086-235-7395 / FAX : 086-235-7400

E-mail : jtca95@okayama-u.ac.jp

### 3. 第 95 回大会 奨励賞申請と発表について

教育・奨励賞担当理事 中村 和昭

第 95 回大会奨励賞申請についてご案内いたします。第 95 回大会におきましても、日本組織培養学会奨励賞の目的である「将来性ある若手研究者の研究を奨励し、本学会の活性化を図る」ため、奨励賞演題の募集を行います。

日本組織培養学会奨励賞は 40 歳以下の若手研究者を対象としております。若手研究者の皆さまにはその受賞を目指して、第 95 回大会でも積極的に申請していただくことを期待しています。

#### 1) 申請資格

- 申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- 2023 年 4 月 1 日現在で 40 歳以下であること。
- 第 95 回大会にて発表する奨励賞応募演題の筆頭発表者であること。
- 日本組織培養学会奨励賞を未受賞であること。

#### 2) 申請方法

申請用紙を大会ホームページよりダウンロードしてご記入ください。申請には、本学会評議員の推薦が必要です。推薦者の捺印や直筆サインは不要ですが、必ず推薦者の承諾を得てください。申請にあたり評議員がご不明な場合はお問い合わせください。申請書類を電子メール添付にて「6) お問い合わせおよび申請書送付先」宛てに送付してください。書類選考の上、奨励賞演題としての登録可否を通知いたします。奨励賞演題の登録が認められた場合、大会ホームページから演題抄録の登録を行っていただきます。奨励賞演題の登録可否の通知は、5 月中旬を目途に行います。

3) 応募〆切

**2023年4月12日(水)**

※ 奨励賞演題登録が認められる前に抄録登録を行わないようお願いいたします。

4) 発表形式

書類選考通過者には、大会で口頭発表ならびにポスター発表を行っていただく予定です。今後、第95回大会ホームページにて詳細をご案内いたします。

5) 受賞者の皆様へのお願い

奨励賞を受賞された場合、以下の学会活動へのご協力をお願いします。

- (1) 会員通信へ「受賞の感想」を寄稿する。
- (2) 受賞題名に関連する論文（原著または総説）を本学会機関誌（Tissue Culture Research Communication）に投稿する。

6) 問い合わせおよび申請書送付先

中村 和昭（E-mail：nakamura-kz@ncchd.go.jp）

**Application and Presentation for the Young Investigator Award (YIA) at the 95<sup>th</sup> Annual Meeting.**

We would like to inform you about the application for the Young Investigator Award (YIA) for the 95<sup>th</sup> Annual Meeting. The 95<sup>th</sup> Annual Meeting of the Japanese Tissue Culture Association (JTCA) will accept applications for the YIA, the purpose of which is to "encourage promising young researchers and revitalize the JTCA".

The YIA is open to young researchers under the age of 40. We hope that young researchers will actively apply for the award at the 95<sup>th</sup> Annual Meeting.

1) Applicants must meet the following criteria

- Must be a member of the Japanese Tissue Culture Association at the time of application.
- Must be under 40 years old as of April 1, 2023.
- Must be the first author of the presentation to be presented at the 95<sup>th</sup> Annual Meeting.
- Must not have received a YIA before.

## 2) Application

Please download the application form from the conference website and fill it out. The application must be recommended by a Councilor of the JTCA. The recommendation does not need to be stamped or signed by the recommender, but the approval of the recommender must be obtained. Please contact us if you are not sure who the councilor of the JTCA is for your application. Please send the application documents as an e-mail attachment to "6. Contact for applications and inquiries." The application will be reviewed in writing, and you will be notified whether or not your presentation will be registered for the YIA. If your abstract is accepted for the Award candidate, you will be asked to register your abstract on the annual meeting website. Notification of the acceptance or rejection of the presentation for the Award will be made by the middle of May.

## 3) Deadline of application.

**April 12, 2023**

- ※ Please do NOT submit to online registration BEFORE the approval of application by YIA office.

## 4) Presentation

Candidates will be invited to give oral and poster presentations at the Meeting. The style of presentation will be announced in the "The 95<sup>th</sup> Annual Meeting Website".

## 5) If awarded, the awardee will be required to take the following actions.

- (i) To submit the comments of impression for getting the Young Investigator Award to Newsletter of Japanese Tissue Culture Association soon after the Annual Meeting.
- (ii) To submit the paper (regular articles or review articles) to "Tissue Culture Research Communications" by the consistent title applied to Young Investigator Award after the Annual Meeting.

## 6) Contact for applications and inquiries.

Kazuaki Nakamura, Ph.D. (E-mail: Nakamura-kz@ncchd.go.jp)



## 4. 第 95 回大会 English Presentation Award (EPA) 申請と発表について

教育・奨励賞担当理事 中村 和昭

日本組織培養学会では、会員の国際的発信能力の増進を奨励し本学会の活性化を図ることを目的に、English Presentation Award (EPA) の授与を行っています。第 95 回大会におきましても、EPA 演題の募集を行います。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国際学会への出席が困難になっており、英語での研究発表の機会が減っているかと思えます。国際学会での発表を想定した腕試しにもつながると思えます。学会員の皆様の積極的な応募を期待します。

### 1) 申請資格

- 申請時に日本組織培養学会の会員であること。
- 第 95 回大会にて発表する EPA 応募演題の筆頭発表者であること。
- 日本組織培養学会 EPA を未受賞であること。

### 2) 申請方法

演題登録時に EPA 応募の旨を明記し、英語にて要旨を記述する。

### 3) 応募〆切

一般演題登録の期限と同様

### 4) 発表形式

英語による口頭発表ならびに質疑応答

### 5) 問い合わせ先

中村 和昭 (E-mail: nakamura-kz@ncchd.go.jp)

## **Application and Presentation for the English Presentation Award (EPA) at the 95<sup>th</sup> Annual Meeting**

The Japanese Tissue Culture Association (JTCA) awards the English Presentation Award (EPA) to encourage members to improve their ability to communicate internationally and to revitalize the JTCA. With the expand of COVID-19, it has become difficult to attend international conferences, and the opportunities to present your research in English may be decreasing. This will be a good opportunity to test your skills in preparation for presentations at international conferences. I look forward to the active application of all members of the JTCA.

1) Applicants must meet the following criteria

- Must be a member of the Japanese Tissue Culture Association at the time of application.
- Must be the first author of the presentation to be presented at the 95<sup>th</sup> Annual Meeting.
- Must not have received an EPA before.

2) Application

When submitting an abstract, indicate that you are applying for EPA and write the abstract in English.

3) Deadline of application.

Same as the deadline for general abstract submission.

4) Presentation

Oral presentation and Qs and As in English.

5) Contact for inquiries.

Kazuaki Nakamura, Ph.D. (E-mail: Nakamura-kz@ncchd.go.jp)

## 5. 委員会等報告

1) 法人化推進委員会報告

法人化担当理事 浅香 勲、小原 有弘

当面の計画としては、商標登録されている「細胞培養土」等の知的財産権を本会固有のものとするため、現在の商標権者からの移転登録の手続きについて、年度内の移転を目指し検討を進めております。

また来年度の社員総会は、次回大会が本事業年度終了後3カ月以内に開催されないため、令和5年7月末までの間にオンライン会議により開催させていただく予定です。そちらにつきましても改めてご案内申し上げますので、ご協力賜りますようお願いいたします。

2) 「ILSI Japan シンポジウム 食品領域の動物実験代替 –現状と動向、未来に向けた取り組み–」の協賛について

国内外渉外担当理事 嶋本 顕

この度、一般社団法人 日本組織培養学会は、特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) が主催するシンポジウムを協賛として支援することになりました。ILSI (International Life Sciences Institute)は、1978年にアメリカで設立された非営利の団体で、科学的な視点に基づいて、健康・栄養・安全・環境に関わる現在と未来の問題の解決および正しい理解を目指し活発な活動を行っている団体です。当学会員の皆様におかれましては、奮ってご参加いただきますようご案内申し上げます。

開催日時： 2023年2月3日(金) 13:00～17:00

開催方法： Zoom ウェビナー

主 催： 特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan)

後 援： 内閣府 食品安全委員会、(公社)日本農芸化学会

協 賛： 日本食品免疫学会、日本機能性食品医用学会、  
(一社)日本動物実験代替法学会、日本動物細胞工学会、  
(一社)日本薬物動態学会、(公社)日本栄養・食糧学会、  
(一社)日本組織培養学会、(一社)日本毒性病理学会

定 員： 500名

参加費： 2,000円 (一般企業・個人・その他の方)

Web サイト： <http://www.ilsijapan.org/ILSIJapan/LEC/AAT/AAT2023.php>